

第24回那須塩原市子ども・子育て会議 まとめ

○議題

(1)ー1 第2期子ども・子育て未来プラン（案）について

◆説明主旨

- ・前回会議でご意見をいただいた事業を含め、今回案として一冊の冊子としてまとめた。
- ・前6章構成。第1章は計画の大まかな説明。当計画は子ども・子育て支援計画、次世代育成支援対策市町村行動計画、子どもの貧困市町村計画、子どもの権利行動計画を内包し、本市の子育て支援に関する最上位計画として策定している。
- ・策定にあたり子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査及び子育て世帯生活実態調査を実施。第2章に調査結果を記載した。
- ・第3章では計画の基本的な考え方として基本理念、基本的な目標、基本方針について記載。
- ・第4章では前回会議でご意見を伺った事業について記載。
- ・第5章は子ども・子育て支援事業計画について記載。ニーズ調査から算出した量の見込みと確保方策について記載。
- ・第6章は計画の推進体制と進捗管理を記載。
- ・事前に委員へ送付した未来プラン案の事前質問について各担当から回答。

◆委員からの主な意見

- ・（浅香会長）放課後児童クラブの低所得者減免について、計画では検討するとなっているが、実施に向けて取り組むべき
- ・（戸田副会長）保育も教育も質の確保に引き続き取り組んでいくべき。
- ・（浅香会長）保育士確保に独自色を出すなど、子育てしやすい街として取り組んで行くべき。

(1)ー2 第2期子ども・子育て未来プラン（案）の基本理念について

◆説明主旨

- ・第1期計画の基本理念は、平成22年度策定の次世代育成支援計画を引き継いでおり10年経過したため、変更したいと考えている。事務局案として5つ用意したが、ご検討をお願いしたい。

◆委員からの主な意見

特になし。

→会長、副会長、事務局に一任となった。

(2) 第2期保育園整備計画（案）について

◆説明主旨

- ・前回会議で検討中だった5年間の具体的な施策について説明。
- ・待機児童解消という目標に向け、まずは地域型保育事業所の設置を推進。認可外

からの移行も含め1～3園の整備を予定。また既存園の認可移行や改修の際に、0歳児を中心とした定員の増加を働きかけていく。

- ・民営化については市の厳しい財源を鑑み引き続き取り組んで行く。対象については第1期で民営化できなかったひがしなす保育園とわかば保育園を対象として、人口減少が緩やかなひがしなす保育園を優先して取り組んでいく。
- ・また民営化対象以外の公立保育園については、セーフティネットとしての役割等を考慮し、今後の公立保育園の在り方を5年間で検討していく。
- ・事前に委員へ送付した保育園整備計画案の事前質問について各担当から回答。

◆委員からの主な意見

- ・(浅香会長・菱沼委員) 地元子ども達がUターンしやすいよう、また、人口減少への対策として保育士確保のため独自の奨学金や就学資金を設けるなど検討してはどうか。

(3) 第2期放課後児童クラブ整備計画(案)について

◆説明主旨

- ・前回の骨子案より変更あった部分について説明。
- ・「2 第1期整備計画の成果」については12施設の新築整備を実施し、計画に記載の13施設全てで開設。公設児童クラブの定員は536人増加した。
- ・「6 整備の方針」を今回追加。第1期整備計画は新築整備を中心に進めてきましたが、利用者数のピークを第2整備計画期間中に迎えると見込んでおり、これ以上の専用施設新築は合理的でないことから、適正面積を満たしていない施設かつ専用施設がなく、現在クラブの運営をしている学校区を優先的に整備。また、適正面積を満たしていない施設は、既存施設などの利用や、民間活力の活用を検討。
- ・施策の優先順位としては①新築整備(青木小のみ)、②学校の余裕教室等活用、③公民館等の公共施設の活用、④空き店舗等の活用、⑤公設児童クラブへの送迎
- ・さまざまな特色を持った民設児童クラブの活用のため、支援の拡充も図っていく。

◆委員からの主な意見

- ・(戸田副会長) 1. 65㎡の基準面積について、児童の処遇を考え1人あたりの面積を拡大して整備するべきでは。
- ・(戸田副会長) クラブに行けず自宅で過ごす、いわゆる隠れ待機児童についても把握し、計画に反映するべきでは。

○その他

◆事務局

- ・本日お意見いただいた計画案について、11月27日から12月20日までパブリックコメントを実施予定
- ・次回会議は3月の予定。